

貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	539,071,370	流動負債	340,880,148
現金・預金	120,836,756	買掛金	1,618,426
未収運賃	15,229,822	未払金	333,055,890
未収金	360,611,823	未払法人税等	2,131,900
商品及び貯蔵品	37,896,204	預り連絡運賃	1,097,580
仮払金	3,935,412	預り金	726,682
その他の流動資産	561,353	前受金	0
		前受運賃	2,249,670
固定資産	91,688,274		
鉄道事業固定資産	85,686,510	固定負債	80,127,474
有形固定資産	83,503,683	退職給付引当金	80,127,474
土地	0	負債合計	421,007,622
建物・建物付属設備	18,142,008	(純資産の部)	
構築物	23,148,145	株主資本	
車両	25,339,241	資本金	300,000,000
機械装置	11,358,124	繰越利益剰余金	△ 88,921,937
工具・器具・備品	5,516,165		
運搬具	1,241,816	純資産合計	211,078,063
一括償却資産	941,011		
無形固定資産	1,850,874		
投資等	4,150,890		
投資その他の資産	4,150,890		
繰延資産	1,326,041		
資産合計	632,085,685	負債・純資産合計	632,085,685

損 益 計 算 書

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
鉄 道 事 業		
営 業 収 益	376,537,445	
営 業 費	528,531,873	
鉄道事業営業損失		△ 151,994,428
関 連 事 業		
営 業 収 益	46,995,042	
営 業 費	15,906,650	
関連事業営業利益		31,088,392
全事業営業損失		△ 120,906,036
固 定 資 産 税		18,529,400
全事業営業損失総計		△ 139,435,436
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	73,118	
その他の収益	596,923	
雑収入	3,611,973	
営業外収益合計		4,282,014
営 業 外 費 用		
雑損失	26,190	
営業外費用合計		26,190
経 常 収 益 計		427,814,501
経 常 支 出 計		562,994,113
経 常 損 失		△ 135,179,612
特 別 利 益		
補 助 金 等	431,651,863	
受 入 保 険 金	825,000	
固定資産売却益	33,908	
特別利益合計		432,510,771
特 別 損 失		
固定資産圧縮損	262,674,150	
固定資産廃棄損	352,912	
災 害 損 失	1,500,000	
その他の特別損失	7,954,659	
特別損失合計		272,481,721
税 引 前 当 期 純 利 益		24,849,438
法人税、住民税及び事業税		2,499,800
当 期 純 利 益		22,349,638

損益計算書の要旨

(税抜/単位：千円)

収 入					支 出						
科 目	20年度 実績	21年度 計 画	21年度 実績	増減分析等	科 目	20年度 実績	21年度 計 画	21年度 実績	増減分析等		
経常収益	定期運賃	107,033	98,000	95,300	釜石商業高校の移転統合と宮古、大船渡地区での列車利用高校生減少	経常費用	人件費	302,106	309,000	313,911	退職者3名退職金支給 アテンダント採用増
	定期外運賃	184,370	179,000	174,900	ETC効果による個人観光客と帰省客の利用減		修繕費	77,227	90,420	77,284	外注費削減の徹底
	地元団体	16,998	30,000	16,100	貸切列車販売伸び悩みと新型インフルエンザによる学生団体減		動力費(燃料他)	81,101	78,425	42,520	燃料経油単価 計画885円 購入単価847円
	観光団体	47,460	66,000	57,000	乗車区間が短縮、利用数増に比べ収入が伸びず		その他経費	87,218	81,840	97,025	25周年事業及び委託事業に伴う経費増
	(運輸収入計)	355,861	373,000	343,300			固定資産税等	32,788	29,913	32,228	減価償却費が増加、固定資産税は減少
	運輸雑収	34,564	34,600	33,236			営業外費用	47	0	26	
	旅行業	10,306	16,000	11,887	上期好調の推移でしたが、下期着地型の旅客が減少		経常費用計(b)	580,440	589,598	562,994	
	物販業	12,980	23,000	12,668	25周年企画で上期好調でしたが競争で計画に大幅に下回る	固定資産圧縮損	182,800	228,760	262,674	鉄道輸送高度化事業	
	受託料収入他	16,049	0	22,439	前年は固定資産補助金利用促進事業、アクションプラン他	固定資産廃棄損	17	0	353	社有車1台買換	
	営業外収入	5,541	1,700	4,282	25周年祝賀会会費、休車補償	災害損失	0	0	1,500	野田玉川～陸中野田間災害復旧工事	
経常収益計(a)	435,301	448,300	427,814		その他の特別損失	0	0	7,955	トンネル・橋梁安全調査費		
特別利益	前年度経常損失補助金	107,158	161,188	145,138	平成20年度分経常損失補充金	特別損失計	182,817	228,760	272,482		
	その他補助金等	183,189	228,760	287,372	鉄道輸送高度化事業、久慈駅改修工事、野田玉川・田野畑移動円滑化工事	法人税等	2,185	2,200	2,499		
	特別利益計	290,347	389,948	432,510		当期支出合計(B)	765,442	820,558	837,857		
当期収入合計(A)	725,648	838,240	860,324		経常損失(a)-(b)	△145,139	△141,298	△135,179	対前年9,960千円改善 対計画6,119千円改善		
					当期利益(A)-(B)	△39,794	17,690	22,349			

株主資本等変動計算書

自 平成21年 4月 1日

至 平成22年 3月31日

(単位:円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資 本 金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他 利益剰余金	利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金			
平成21年3月31日残高	300,000,000	△ 111,271,575	△ 111,271,575	188,728,425	188,728,425
事業年度中の変動額	0	0	0	0	0
当期純利益	0	22,349,638	22,349,638	22,349,638	22,349,638
事業年度中の変動額合計	0	22,349,638	22,349,638	22,349,638	22,349,638
平成22年3月31日残高	300,000,000	△ 88,921,937	△ 88,921,937	211,078,063	211,078,063

個別注記表

平成 21年 4月 4日 から
平成 22年 3月 31日 まで

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品は、最終仕入原価法を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産

定額法を採用しています。

無形固定資産

定額法を採用しています。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

補助金の会計処理

橋梁及び車両の老朽化対策に伴う改修工事を行うにあたり、鉄道軌道輸送高度化補助事業として、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構と岩手県並びに沿線市町村から補助金を受けています。また、久慈駅改修工事及び野田玉川駅・田野畑駅移動円滑化設備整備工事を行うにあたり、岩手県、野田村、田野畑村から補助金を受けています。これらの補助金事業は、当該固定資産の取得価格から直接減額して計上しています。

II. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 322,533,681 円

(2) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税抜経理方式を採用しています。

III. 損益計算書に関する注記

(1) 鉄道事業営業収益の内訳は次のとおりです。

旅客運輸収入	343,300,840	円
運輸雑収入	33,236,605	円
計	376,537,445	円

(2) 鉄道事業営業費の内訳は次のとおりです。

運送費	475,229,013	円
案内宣伝費	499,810	円
厚生福利施設費	5,754,311	円
一般管理費	32,521,030	円
付加価値割・資本割事業税		円
諸税	19,359,099	円
減価償却費	13,698,010	円
計	547,061,273	円

(3) 関連事業の取扱額は次のとおりです。

旅行業	216,456,384	円
物品販売業	58,927,910	円
その他	22,439,467	円
計	297,823,761	円

(4) 国、岩手県及び沿線市町村等から次の支援を受けています。

① 鉄道軌道輸送高度化事業費補助金及び会社負担設備投資額補助金
235,090,162 円

② 三陸鉄道運営費補助（固定資産税額相当経費分）

日本鉄道建設公団から鉄道資産の無償譲渡に直接起因して課税された固定資産税額に相当する額

15,186,400 円

③ 三陸鉄道運営費補助（前年度経常損失額相当経費分）

平成20年度において、旅客を運送する事業の経常損益の計算上生じた損失額に相当する額

145,138,440 円

④ 久慈駅改修工事、野田玉川駅及び田野畑駅移動円滑化設備整備の補助金
35,444,000 円

⑤ トンネル・橋梁の無償借受

固定資産税の軽減を図るためトンネル・橋梁を沿線市町村に寄附し、当該資産を無償で借り受けています。

なお、管理は三陸鉄道が行っています。

⑥ 鉄道用地の無償借受

三陸鉄道の鉄道事業再構築事業を実施するにあたり、鉄道施設等に係る維持管理負担軽減を図るため、鉄道用地を沿線市町村に寄附し、当該資産を無償で借り受けています。

なお、管理は三陸鉄道が行っています。

⑦ 岩手県三陸鉄道強化促進協議会及び三陸鉄道沿線地域等公共交通活性化協議会（法定協議会）からの支援

地元利用促進運動（新マイレール 30 万人運動）の展開、「よくできました号」の運行やキッズトレイン運行等の通常事業の外、四季を通じての企画列車運行支援、三陸鉄道を利用するツアーの造成・PR・集客等の支援、開業 25 周年記念事業や三陸鉄道利用者補助制度の特別事業を実施

また、法定協議会では三陸鉄道沿線地域等公共交通活性化総合連携計画に基づき、利用促進支援、観光施策との連携、域外からの観光誘客支援、地域間交流の推進を実施

Ⅲ. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式（発行済株式）前期末株式数（発行済普通株式） 30,000株

当期末株式数（発行済普通株式） 30,000株

Ⅳ. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たりの純資産額	7,035円
(2) 1株あたりの当期純利益金額又は当期純損失金額	744円